

## 県立愛川ふれあいの村の指定管理者候補について

県立のふれあいの村指定管理者外部評価委員会 審査結果(指定管理者候補(案))	東急コミュニティー・国際自然 大学校グループ
---	---------------------------

### 1 県立のふれあいの村指定管理者外部評価委員会審査結果

#### <評価点>

団体名(所在地)	選定基準別点数			合計点
	サービスの向上	経費の節減	団体の業務遂行能力	
(株)寿食品(相模原市)	28	30	10	68
サンアメ・テアトルグループ (東京都北区王子)	34	26	13	73
特定非営利活動法人ミハタ(相模原市)	30	18	10	58
愛川ふれあい教育推進企業体(横浜市)	36	30	16	82
東急コミュニティー・国際自然大学校 グループ(東京都世田谷区用賀)	37	30	17	84
アクティオ(株)(東京都目黒区下目黒)	37	30	16	83
(財)横浜YMCA(横浜市)	38	22	16	76

#### <審査講評>

指定管理者の候補者の選定にあたり、申請のあった7団体の中で、特に上位3団体の提案について重点的に審査を行った。

##### <審査項目「サービスの向上」について>

愛川ふれあい教育推進企業体は、多くのスポーツ施設の運営や自然教育活動を企画運営した実績を踏まえた提案となっている。また、東急コミュニティー・国際自然大学校グループ及びアクティオ(株)は、類似施設における運営実績を活かし、ふれあいの村の設置趣旨を十分理解した具体的な提案となっている。

##### <審査項目「管理経費の節減等」について>

3団体の提案の「管理経費の節減等」の評点はいずれも30点(満点)である。

##### <審査項目「団体の業務遂行能力」について>

東急コミュニティー・国際自然大学校グループが、財政的な能力が極めて高く安心感がある。

なお、これまでの実績については、3団体とも同点としたが、東急コミュニティー・国際自然大学校グループの特定非営利活動法人国際自然大学校が、野外体験や自然体験活動等において、つねに先駆的な取り組みを行ってきた実績については評価できる。

##### <総合的な判定>

以上の点を踏まえ、総合的に判断した結果、神奈川県立のふれあいの村指定管理者外部評価委員会は、東急コミュニティー・国際自然大学校グループを最も優秀な提案者とした。

## 2 県立のふれあいの村指定管理者外部評価委員会審査結果に対する教育局意見

審査結果について	賛同する ・ 検討の必要有り
<p>神奈川県立のふれあいの村指定管理者外部評価委員会での審査結果を確認したところ、次の点を特に評価し、同委員会の審査結果のとおり、東急コミュニティー・国際自然大学校グループが指定管理者候補として最も相応しいと判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・類似施設における運営実績を活かし、児童・生徒等の体験・交流活動の場であるふれあいの村の教育施設としての意義を十分理解した具体的な提案となっていること</li><li>・管理経費の節減について、10.0%の削減が図られていること</li><li>・財政的な能力や全国的な実績など、団体の業務遂行能力が高いこと</li><li>・特に、同グループを構成するNPO法人国際自然大学校が、野外体験や自然体験活動等において、長年(約30年)にわたり常に先駆的、指導的な取り組みを行っていること</li></ul> <p>なお、次点であるアクティオ(株)は、類似施設における運営実績を活かし、ふれあいの村の設置趣旨を理解した具体的な提案となっており、また、次々点である愛川ふれあい教育推進企業体は、多くのスポーツ施設の運営や自然教育活動を企画運営した実績を踏まえた提案となっており、両提案とも評価できるが、東急コミュニティー・国際自然大学校グループが「サービスの向上」「管理経費の節減」「団体の業務遂行能力」の審査分野全体で総合的により良い提案となっている。</p>	